

5年 道徳

主題名	わたしの学校
中心内容項目	C-16 よりよい学校生活、集団生活の充実 バトンをつなげ
	令和6年 2月 19日 5時間目
	児童 5年 1組 31名
	授業者 多治見 莉子

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値（教師の価値観）

第5学年及び第6学年「C-16 よりよい学校生活、集団生活の充実」には、「みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。」とある。

よりよい学校を作っていくためには、自分自身の頑張りが必要であるということに気づかせると同時に集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする心情を育てよう指導することが大切である。

(2) 児童の実態（児童観）

素直で明るく、当番活動や清掃活動等、何事に対しても意欲的に行動することができる。また、委員会活動やたてわり班活動における高学年として自分の立場や役割を担うことに前向きな児童は多い。しかし、頼まれた仕事や指示があったことについては自信をもって積極的に行う一方で、自ら「周りのために」「全校のために」と自ら考えて率先して動く児童は少ない。このことから、「最高学年に近付いている」ということや「よりよい学校には、最高学年の自覚や行動が必須」という意識はあまりもてていないと考えられる。

この学習を通じて、みんなで協力して、よりよい学校を作っていこうという前向きな気持ちをもてるよう促していきたい。

【事前アンケート】 (回答者数 30名)

質問項目	回答数及び主な回答
「よい学校」とは、どんな学校のことですか。	<ul style="list-style-type: none"> いじめのない学校 ・笑顔がいっぱいな学校 協力し合う学校 ・にぎやかな学校 先生や友達が優しい学校 ・楽しく過ごせる学校 譲り合いがある学校 ・挨拶を自分からしている学校 勉強ができる学校 ・みんなで楽しい学校 みんなが笑顔な学校 ・ルールを守る学校 ※同意見多数
そんな「よい学校」で毎日を過ごしたいですか。	はい 30名 いいえ 0名
学校での自分の役割は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 委員会 ・係 ・当番 ・高学年として下級生を助ける たてわり班 ・学級三役 ・困っている人を助ける 勉強 ・児童会選挙の責任者 ※同意見多数（具体的な名前を挙げている児童も）

(3) 教材への思い（教材観）

本教材は、卒業を間近に控えた6年生のために5年生が「六年生を送る会」の計画や準備をし、進めていく際にうまくいかずに悩む「わたし」が見えないところでサポートしてくれていた6年生の姿に気づき、最高学年としての姿や自覚とは何かを考える教材である。学校生活において、高学年としての役割を自覚し、学校全体のことを考えようとする心情を育てる資料になっている。

2 総合単元ユニットとの関係

3学期は、2学期と同様「仲間と協力し、互いに認め合い、最高学年に向けて、一つ上の自分を目指し行動しようとする態度を育てる。」というねらいに沿って「一つ上の自分を目指し、進んでチャレンジする5年生」を主題とした。

3学期に入っすぐに、児童に学期の見通しをもたせることができるような指導をしてきているので、児童それぞれが自分自身にできる役割は何かを考え、成長への一歩を踏み出そうとしている。一方で、自分の殻を破りたいと成長への意欲を高めているものの、「最高学年に向けて」という視点がまだ薄く、仕事や取組に対して受け身な児童も多い。今一度、児童が自らの生活と照らし合わせて、最高学年に向けた自覚とよりよい学校を作るための立役者になるという意欲につなげたい。

3 研究との関わり

(学びの主体意識をもち、道徳的な問題を自分事として捉え、自己の生き方を考えられるようにする指導の工夫)

子供の「？」を大切に、「課題」を設定する

- ・ ずれから抱く問題意識
- ・ 主題や教材の内容に興味や関心をもたせる

主体意識を抱く発問

- ・ 自分事として捉え、価値の理解に迫る

共通解・納得解を導き出すための発問

- ・ 拡散した考えが収束する発問

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

学校に愛情を持ち、学校の一員としての自覚を持って、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくっていこうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問)	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 ◎研修との関わり
価値への方向付け	1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する 【アンケートの内容提示】 ○よい学校ってどんな学校？ ・いじめのない学校 ・みんなが笑顔な学校 ・協力し合う学校 ・にぎやかな学校 ・楽しく過ごせる学校 ・雰囲気の良い学校	●事前アンケートを提示し、本時の課題への意識づけをする。 ◎「よい学校」は、自然とできるものではなく、自分たち自身が、その学校づくりの役割をもつかもしれないという気持ちの芽生えから課題につなげる。
	≪本時の課題≫ 最高学年について考えよう 2 教材「バトンをつなげ」を通して、「課題」を追求する ○教材を読んで感じたことを交流しましょう。 ・6年生は、見えないところで動いている。 ・目立たないところでも動くことができている。 ・6年生は最高学年として支えてくれている。 ・自分たちも、たてわり班のお別れ会を計画しているけど上手にできるかな。 ○みなさんは、そんな6年生になれそうですか。 ・今も、たてわりのお別れ会の準備を頑張っているから大丈夫そう！ ・不安だなあ・・・ ・頑張りたいけど、難しいこともありそう。	●感想を聞く中で、教材における6年生のよさやすさ、わたしの気持ちについて板書で整理していく。 ◎教材の世界と自分自身のことを行ったり来たりする往還を基本に進めていく。
	◎5年生と6年生の一才の差って何でしょう。 ・最高学年として自分たちが学校を引っ張っていくという自覚、覚悟 ・周りを見て動く責任 ・「自分たちが」という責任 ・「学校の顔」という意識 ・人任せではなく自分たちで ○よい学校づくりのために、最高学年として必要なことは何でしょう。	◎道徳的価値に関する理解を深める問い「中心発問」 ◎中心発問への児童の考えや、導入のアンケート、そして現在の学校を支えている6年生の思いや行動についても触れ、共通解を導く。
価値の追求・把握	≪共通解≫ バトンをつないでいくこと、自分たちで創っていく意識、最高学年としての自覚。	◎卒業生のメッセージ動画を提示しに、納得解につなげる。
	3 価値について納得解をまとめる ○バトンを受け取るみなさんは、残り2か月間をどう過ごしていきたいですか。 ・たてわり班のお別れ会をまずは成功させて、最高学年への一歩としたい。 ・さよなら集会での自分の担当を一生懸命行い、6年生を喜ばせたい。 ・「周りを見て」ということを意識して、低学年を引っ張っていきたい。	●集団における自分の役割を自覚し、それぞれが自分の責任を果たそうとする心情をもてるよう言葉掛けをする。
価値の自覚・意欲化		

(3) 本時の評価について

学校に愛情を持ち、学校の一員としての自覚を持って、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくっていこうとする心情を育てることができたか。

5 板書計画

たてわり班のお別れ会・・・最高学年への一歩へ
「周りを見て」を意識したい
廊下を走らないなど、低学年のお手本に

◎ 5年生と6年生の一才の差ってなんだろう。

「自分たちが」という意識
周りを見て動く姿 支えていくという気持ち
「学校の顔」という意識 引っ張っていく力

課
最高学年について考えよう。

よい学校
・笑顔あふれる
・あいさつ
・協力し合う
・みんなが優しい
・いじめのない

自然と…?

バトンをつなげ

自分たちと同じ
↓たてわり班
↓さよなら集会
↓6年生のために
↓どの学年の人も楽しめるように

見えないところで
支えてくれている
最高学年として
素敵だなあ
かっこいい

なれそう？
今も頑張っているからできる
不安 うまくいくかな・・・
難しいこともありそう

最高学年としての自覚
バトンをつないで
自分たちで

6 総合単元ユニット

主題	一つ上の自分を目指し、進んでチャレンジする5年生
ねらい	仲間と協力し、互いに認め合い、最高学年に向けて、一つ上の自分を目指し行動しようとする態度を育てる。
育てたい心	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の多様な意見を尊重する心 ・周りを見て、自分は何をすべきか判断し、進んで働こうとする心 ・困難があっても、目標をもって自分の課題と向き合い挑戦しようとする心

	行事・各教科等の学習	道徳の時間	日常指導・その他
1月	<p>学活：2学期のめあて みんなが気持ちよく学校生活を送るための、めあてを考える。</p>	<p>大きなじこをよぶ「ヒヤリ・ハット」A-3 節度、節制 自分の生活を見直し、危険から身を守り、自分だけでなく、周囲の人々に安全にも気をつけようとする判断力を育てる。</p>	<p>3つの「あ」の取組 係・当番活動 色々な意見を取り入れながら、みんなが気持ちよく過ごすという視点を常にもつ。</p>
2月	<p>学活：前期児童会役員決め 高学年として、責任を持ち、難しいことがあっても、学校のためや、学級のために考えて行動することができる。</p>	<p>クマのあたりまえ D-19 生命の尊さ 生きていることのすばらしさや喜びを感じ、かけがえのない生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。</p> <p>友の命 B-10 友情、信頼 友達と互いに信頼し合い、高め合いながらよりよい人間関係を築いていこうとする心情を育てる。</p>	<p>児童会活動 みんなが気持ちよく、楽しく学校生活を送ることができるという視点をもち。</p> <p>休み時間 きまりを守って、周りを見ながら楽しく過ごす。</p>
3月	<p>行事：ありがとう大作戦 さよなら集会へ向けた取組を通して、自分を支えてくれる人に対して感謝する。</p> <p>学活：6年生に向けて 1年間を振り返り、最高学年として、ふさわしい姿を目指すのかをイメージする。</p> <p>行事：修了式・卒業式 1年間のまとめをするとともに、1年後の自分達の姿を想像し、次年度の目標につなげる。</p>	<p>バトンをつなげ C-5 よりよい学校生活、集団生活の充実 学校に愛情をもち、学校の一員としての自覚をもって、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくっていかうとする心情を育てる。</p>	<p>児童会選挙 自分の目標をもって、学校のために行動に移そうとする。また、立候補する人のためにできることを考えて行動する。</p>